

-WindowsXP、Windows2000 での HDD フォーマット方法に関して -

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本フォーマット方法は IDE/ATA ハードディスクドライブ (以降 HDD と表記) ,並びに外付け HDD を WindowsXP/2000 で認識させ使用可能状態にする方法になります。お買い上げ頂いた HDD を PC に組み付け、(外付け HDD の場合はケーブル接続後 Windows 上でフォーマットする事で Windows 上で認識することが出来ます。未フォーマットのハードディスクを接続すると、大容量記憶デバイス、USB 機器が接続されたことは認識されますが、パソコンは未フォーマットのハードディスクを認識することができないため、「マイコンピュータ」内を探しても本製品を示すアイコンは表示されません。

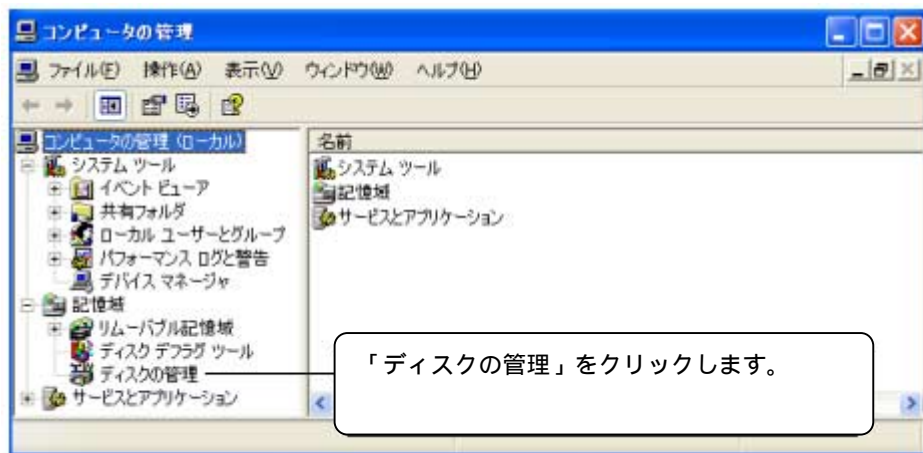
パソコンに認識させて「マイコンピュータ」内にアイコンを表示させるには、「ディスクの管理」でフォーマット作業をおこなう必要があります。なお、この作業では、パーティションというデータ上の仕切りを設けてハードディスク内に複数の領域を作成し、一つのハードディスクドライブをあたかも複数のドライブがあるようにして使用できる設定もおこなえます。

この説明書では、Windows XP および Windows 2000 の「ディスクの管理」からハードディスクをフォーマットする (パーティションを作成する) 方法をご説明します (イラストは Windows XP のものです)。

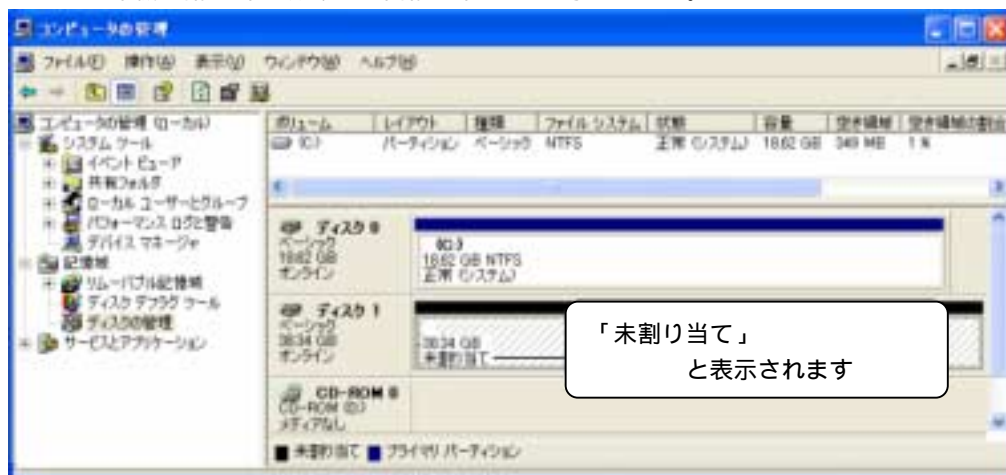
なお、「ディスクの管理」を表示させると「ディスクの初期化と変換ウィザード」(Windows2000 の場合:「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」) が起動することがあります。この場合は、「はい」を選択して署名を完了させてください。

フォーマット手順

- Step 1. お買い上げの HDD をパソコンに組み付けた後(外付け HDD,USB 又は IEEE1394 の場合はパソコンにケーブルを接続後) パソコンに電源を入れます。
- Step 2. Windows が起動した後、自動的に HDD が接続されたことを認識します。画面下のタスクバーの右側にアイコンが出現し認識を確認している状態がバルーンヘルプ(吹き出し)にて表示されます。
- Step 3. 認識が終了したら「スタート」をクリックします。
- Step 4. 「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「管理」をクリックします。
- Step 5. 「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されます。「ディスクの管理」をクリックします。



STEP 6. 本機の割り当て領域は「未割り当て」と表示されます。



重要

フォーマットを行う前に
必ずお読みください

万一の事故などで一度データが損失・損傷すると、そのデータを修復することはできなくなります。このような事態を防ぐために、本製品の使用に際し、重要なデータは必ずバックアップを作成してください。バックアップを作成しなかったことでデータが損失・損傷し、いかなる損害が生じた場合でも、弊社はその責任を負いかねます。予めご了承ください。

ハードディスクのフォーマットはお客様ご自身の責任において行われるものです。フォーマット方法を誤るなどの結果として生じる如何なる損害につきましても弊社はその責任を負いかねます。予めご了承ください。

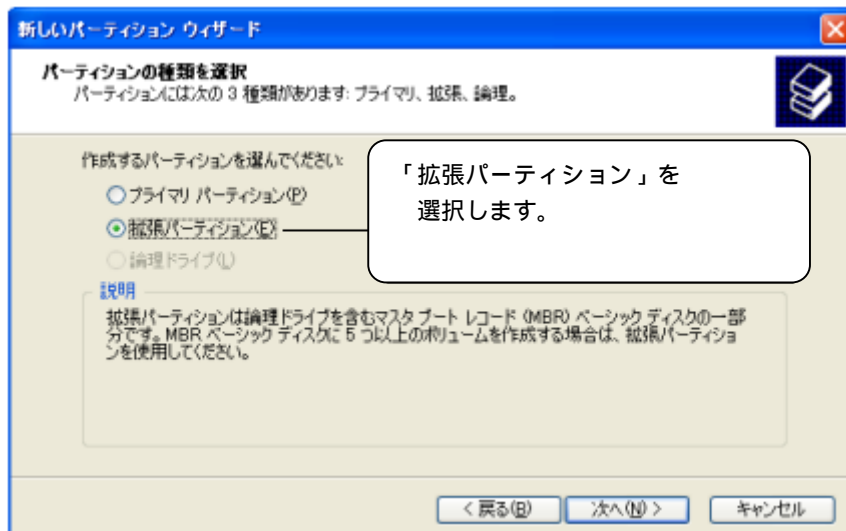
STEP 7. 「未割り当て」領域を右クリックし、「新しいパーティション」(Windows 2000 は「パーティションの作成」) をクリックします。



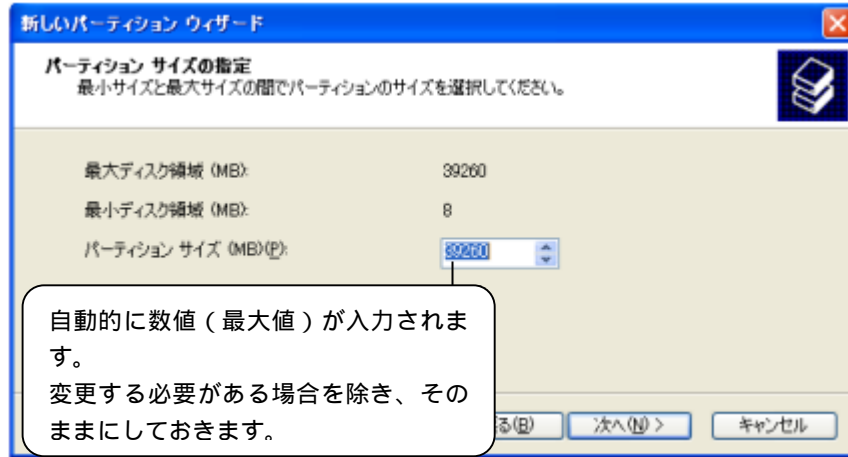
STEP 8. 「新しいパーティションウィザード」(Windows 2000 は「パーティションの作成ウィザード」) が起動します。「次へ」をクリックします。



STEP 9. 「拡張パーティション」を選択し、「次へ」をクリックします。

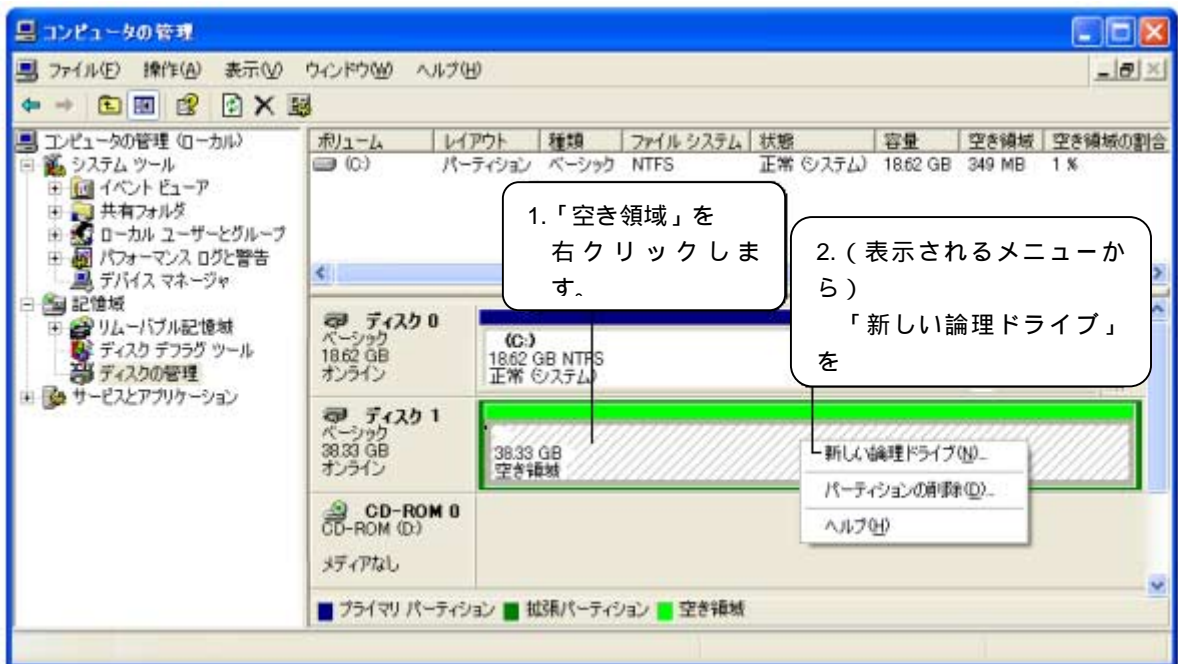


STEP 10. パーティションのサイズを指定します。通常はそのまま「次へ」をクリックします。



STEP 11. 「新しいパーティションウィザード」の完了画面になります「完了」をクリックします。

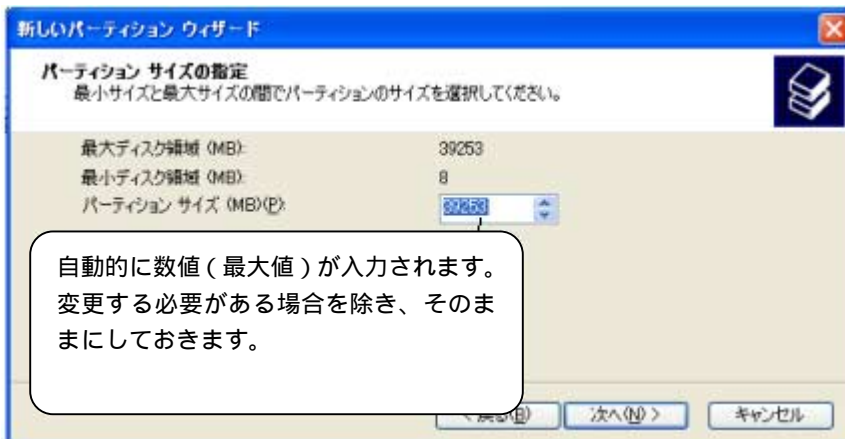
STEP 12. 「空き領域」を右クリック、「新しい論理ドライブ」(Windows 2000 は「論理ドライブの作成」)をクリックします。



STEP 13. 再び「新しいパーティションウィザード」(Windows 2000 の場合「パーティションの作成ウィザード」)が起動します。「次へ」をクリックします。

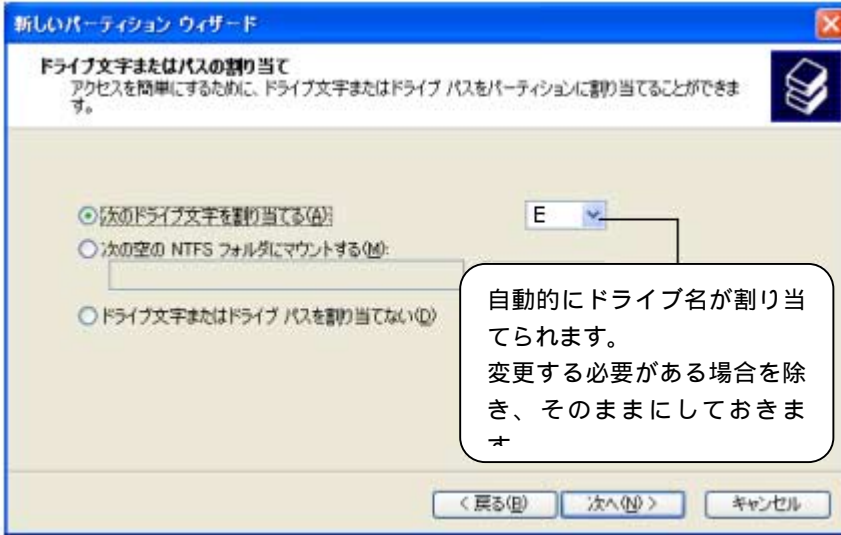
STEP 14. 「パーティションの種類を選択」で、「論理ドライブ」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

STEP 15. パーティションのサイズを指定します。通常はそのまま「次へ」をクリックします。



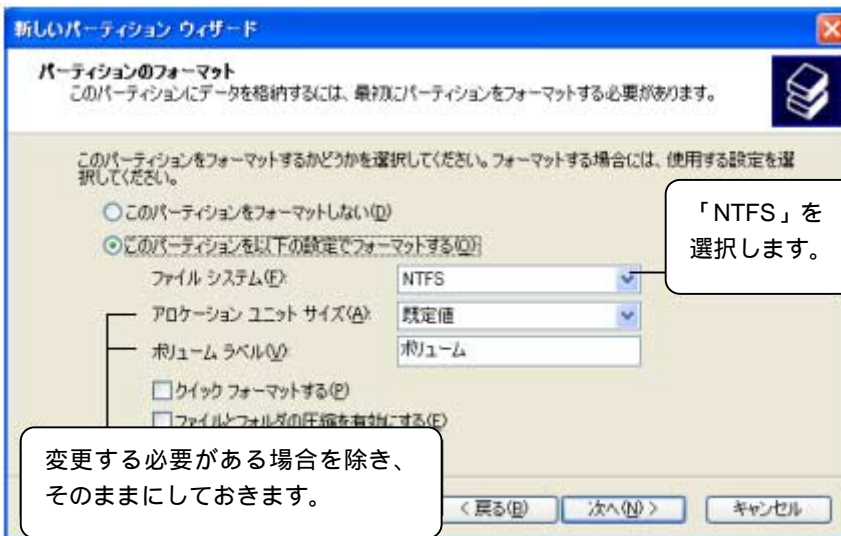
パーティションを設ける場合は、STEP 15にある数値入力欄に設定したいファイルのサイズを入力し、手順に従って作成するパーティションの数だけSTEP 15からSTEP 18までの作業を繰り返す行います。

STEP 16. ドライブ文字を割り当てます。通常はそのまま「次へ」をクリックします。



本説明では割り当てドライブが「E:」となっていますが、お使いのパソコンによってドライブ名が違う場合がありますので他のドライブ名を確認した上で慎重に行ってください。

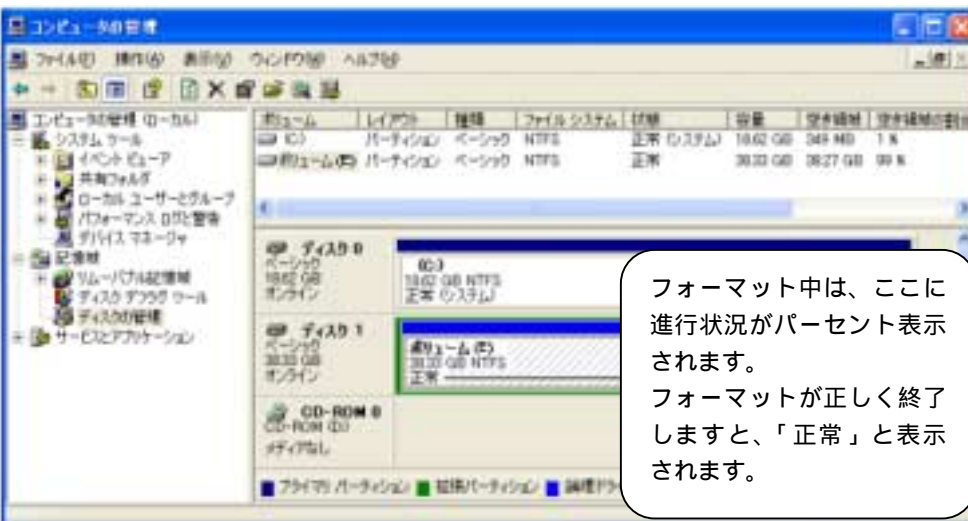
STEP 16. 「このパーティションを以下の設定でフォーマットする」を設定し、「次へ」をクリックします。



「クイックフォーマットする」にチェックを入れた場合、フォーマットは数秒で終わりますが通常はチェックを入れないでフォーマットをする事（通常フォーマット）をお勧めします。通常フォーマットの場合 HDD の容量によって時間が掛かりますのでご注意ください。

STEP 17. 「新しいパーティションウィザード」の完了画面になります。「完了」をクリックします。

STEP 18. フォーマットが開始されます。正常に完了すると「コンピュータの管理」ウィンドウは次のように表示されます。



フォーマット中はアプリケーションを起動したり、再起動、パソコン電源のON/OFF等の操作は絶対に行わないでください。操作を行った場合 HDD の破損、異常エラーが起きてしまう場合があります。

STEP 19. フォーマットが終了しましたらパソコンを再起動させ「マイコンピュータ」上でHDDが認識されていることを確認してください。以上でHDDの認識及びフォーマット作業は完了です。

本書の一部あるいは全部において、株式会社サードウェブから文書による許諾を受けずに、いかなる方法においても無断複写、複製、写真の転載などを行うことは一切禁じられています。